

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年2月10日

施設名	香北青少年の家	所管課	高知県教育委員会事務局生涯学習課
-----	---------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさとみらい	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和2年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰りだよ！親子忍者大会体験 ・日帰りだよ！プチ!! 親子避難生活体験 ・日帰りだよ！集まれ!!未来のピザ職人 ・日帰りだよ！忍者大会 ・日帰りだよ！親子でピザ職人 ・めざせ!!やなせたかし先生 ・青年リーダー研修 		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員127名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km 		
職員体制	職員:所長1名 会計総務部長1名 会計総務部1名 指導主任1名 指導員2名 調理主任1名 調理員3名 警備宿直3名 合計:13名		

2 収支の状況

(単位:円)

		R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(予算)
収入	県支出金	39,971,000	41,176,000	41,453,000
	事業費収入	660,139	218,448	275,000
	収入計	40,631,139	41,394,448	41,728,000
支出	事業費	1,093,903	1,114,846	1,203,000
	管理運営費	13,588,690	13,721,774	11,362,000
	人件費	22,589,571	22,794,713	25,370,000
	消費税	3,358,975	3,763,115	3,793,000
	支出計	40,631,139	41,394,448	41,728,000

使用料収入	1,612,203	275,740	1,343,000
-------	-----------	---------	-----------

3 利用実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
利用者数	16,469	15,129	15,478	12,681	3,927	12,737
利用団体数	175	162	166	132	67	140
宿泊者数	7,481	6,589	6,570	5,431	1,032	5,421
宿泊稼働率	24.3%	22.9%	24.9%	23.2%	7.8%	20.6%

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「忍者大会」などの主催事業について、コロナ禍でも実施できるように、感染症対策を反映した新しいプログラムを構築している。 ・「親子避難生活体験」では、震災に備えるだけでなく、避難生活体験を通して、集団生活の中でルールを守る大切さや共同生活の難しさなども学ぶことができるプログラムとなっている。 ・主催事業のボランティアスタッフとして高校生以上の青年リーダーを参加させ、子どもたちと一緒に活動することで、青年リーダーにとっても様々な気づきの場になっている。 ・ホームページに、主催事業についての情報や施設の利用申請書等を掲載し、利用しやすい環境を整えている。 ・感染症対策版のプログラムにより感染症対策を徹底していることについても、ホームページ等で周知することを検討してほしい。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても実施できる事業への見直しや、徹底したリスク管理などにより、利用者サービスを低下させないよう取り組んでいる。 ・主催事業アンケートの項目を明確化したうえで定量的に分析し、プログラムの内容充実には生かしている。また、利用者と対話を大切にし、利用者ニーズの把握にも努めている。 ・小学校の宿泊体験学習では、学校と綿密な打合せを行い、よりよい体験学習ができるように努めている。
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の点検や、経年劣化箇所の修繕、職員によるピザ窯の設置など、細部にわたり対策を実施し、適切な運営ができています。
④利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少しているが、宿泊を伴う事業を日帰りに変更して対応し、できるだけ事業を行うよう努めている。 ・コロナ禍においては、利用実績の一定の低下はやむを得ないが、向上に向けて、なお一層の研究、対策を期待する。
⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、費用の実績も下がると思われるが、代替事業の実施や既存事業の回数増などにより、今後も指定管理代行料を有効に活用できるよう、努めてほしい。
総合評価	<p>青少年教育施設としての目標や、仕様書に定める内容を十分に達成している。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全を第一に考えながら、これまでの事業を現状にあわせて見直すなど、工夫した取組がされている。 ・コロナ禍においても、野外での活動や宿泊体験など、利用者にとって貴重な体験ができる施設として、今後も、様々な取組を進めてほしい。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの